

〔曲 名〕 Tramonto di Maggio

五月の夕べ

〔曲 種〕

〔作曲者〕 Ugo Bottacchiari

ウーゴ ボッタッキアーリ

〔編 曲〕

〔曲 名〕 Cadon le Foglie

落 葉

〔曲 種〕

〔作曲者〕 Ugo Bottacchiari

ウーゴ ボッタッキアーリ

〔編 曲〕

作者は1879年3月10日マチェラータのカステルライモンドに生まれ、1944年逝いたイタリアの作曲家。
マチェラータの工業学校を出てから音楽への情熱もだし難く、
ペザロのマスカーニニ指導下の音楽学校に入り和声、フーガ楽器法を学び4年後に卒業諸所のコンタール
に作品が受賞した。

ジェノヴァ市に捧げた四楽章のシムフォニーは金牌受賞し、行進曲、前奏曲、交響曲、夜曲などがボ
ローニアのコメリーニから出版、
オペラ「影」はフィレンツェのラピーニから出版された。

更にオペラ「故国に」は後に「厳しいトレリ」喜歌劇「紳士の楽園」は「愛のいたずら」となってコメ
リーニより出版。

ルッカでは吹奏楽団の指揮者並びにバチーニ音楽学校の教師ともなった。

一時はカッペレティの後を継いで同市のフローラマンドリン合奏団の指揮者となり市民吹奏楽団の指揮も兼ねた。

又ボローニアのイル・コンチェルト誌の主幹となって数多の自作を発表ス楽に貢献した。

五月の夕べ、落葉、二曲共三つのマンドリンとマンドラの四部合奏曲で

前者はチェノヴァのヴィタ・マンドリニスティカ誌（後にイル・プレットロで再刊)後者はコメリーニ(ボローニア)で発表を見たもの。

前者はブランカ・パニーニに後者はカステラーノ・アレッサンドロに贈られている。

本邦では交響的前奏曲がよく上演されるが先づ斯うしたものを肌理細かく弾いてからにしたい。

落葉は落ちて了つた葉でなく、木の葉が散る……の方がよいかも知れない。

1970年 7 月20日発行

イタリアマンドリン百曲選第 7 集より

（上記 2 曲併用解説）